要求実現にがんばっています

この間、委員会で取上げた主な質問項目を紹介します。詳しくはホームページをご覧下さい。

■ 児童虐待防止の体制強化を

生活福祉保健委員会（6月28日）

辻議員は、昨年度のこども家庭センター（西部、東部、北部）における児童虐待相談対応件数が、2243件（広島市分は除く）で過去最高となった問題を質問しました。

相談員の対応状況について、徳光子ども家庭課長は「現在の児童福祉士は3センター合計で51人に増え、一人当たりの相談件数は57件から47件に低下している」と答弁。

辻議員は「虐待の相談件数は増えており、さらなる体制強化が必要だ」と要求しました。

辻議員は 「創造的復興・県土強靭化対策特別委員会」に

所管事務は①平成３０年７月豪雨災害に係る復旧・復興の着実な実施に関する調査の件、②防災・減災、県土強靭化の推進に関する調査の件です。

オスプレイは被爆地上空を飛ぶな

要請書を手渡す辻県議ら＝5月20日、県庁

米軍横田基地配備のオスプレイ２機が、広島市街地や平和公園などの上空を飛行した問題で、辻議員と日本共産党県委員会は５月２０日、県に対し「県内を飛行しないこと」などを日本政府と米政府に求めるよう要請しました。

辻議員は「米軍は傍若無人に訓練を繰り返しており、絶対に許せない。県民の安心・安全を守るようしっかり対応して欲しい」と求めました。

７月にもオスプレイが再び飛行し、７月２５日、同様の申入れを行いました。

改修申入れ

県営長寿園（広島市中区） コンクリート剥落であわや事故

県営長寿園の改修要望＝7月1日、県議会

県営長寿園の老朽化問題で7月1日、自治会から2名、近松里子広島市議、皆川恵史前市議は県住宅課に改修を申し入れ、辻議員が同席しました。

南1号館は、ベランダ基部の損傷が激しく（写真右）相次いで落下事故がおきています。自治会長は「4月には人頭大のコンクリート片が落下。通行者や車にあたれば大惨事になるところだった。至急、防止対策を」と訴えました。

ベランダ基部の損傷が激しい、県営長寿園南1号館

後日、担当課長から「来年度から、大規模外壁改修工事が実施できるよう検討する。応急処置は実施する」との連絡がありました。

6月 県議会

一般会計補正予算 豪雨災害対策など2億9500万円

一般会計補正予算総額は2億9500万円です。

昨年7月豪雨災害で被災した事業者の内、国の「持続化補助金」に採択された小規模事業者への販路開拓等支援事業として1億1377万円余が計上。災害復旧事業として60億円の債務負担行為（後年度の支出）が決まりました。

その他の事業で主なもの

- 外国人材の受入・共生対策　2900万円
- 紙屋町・八丁堀地区の再開発調査等　2150万円
- サッカースタジアム基本計画の策定経費　2800万円
- 旧優性保護法一時金支給関連経費　1100万円

大型開発 紙屋町・八丁堀地区の開発予算に反対

紙屋町・八丁堀地区（161ヘクタール）の再開発は、都市再生特別措置法に基づいて2018年に国から指定。今後、県と広島市が一体になって進めるというものです。

辻議員は、「広島市の都市機能の高度化と居住環境の向上をはかると言うが、開発が進めば、広島市と周辺市町との都市格差は、ますます広がる。県土の均衡ある発展を考える時、都市部に集中して開発を進めることには問題がある」と反対しました。

福山にて

JFEで相次ぐ死亡事故 原因究明・防止策指導を労働局へ申入れ

広島労働局への要請＝6月6日、広島市中区

福山市のＪＦＥスチール西日本製鉄所で死亡事故が相次いでいる問題（３月から５月までに３件の事故、３人が死亡、１人が重体）で、辻つねお議員と土屋とものり福山市議は６月６日、広島労働局を訪れ、同社が事故の原因究明と再発防止策をとり、情報を公開するよう指導を求めました。

労働基準部長は「合理化やリストラ、世代交代が進み、現場の対応力の低下が指摘されている。原因究明と再発防止対策を講じていきたい」と答えました。

河手川（こうげ）の堆積土砂撤去が実現

辻議員と高木たけし福山市議は５月１２日、「堆積土砂が多く心配」との市民要望を受け、河手川を現地調査（写真上）し、２８日、県東部事務所に申し入れました（写真下）。

5月30・31日にさっそく、土砂が撤去され住民の方から喜ばれています。

山野峡キャンプ場・龍頭峡歩道 早期復旧を

早期復旧を要望＝5月28日、福山市

山野峡キャンプ場と龍頭峡遊歩道は、昨年７月の豪雨災害で崩壊し、復旧していません。

市民から要望を受け、辻議員と土屋とものり福山市議は５月２８日、県東部事務所に早期復旧を申し入れました。

県担当者から「今年の夏休みにはキャンプ場を部分再開できるよう福山市とも協議したい」と前向きな回答を得られました。